

「くりはら物語」

地産地消 『迫野御膳』

栗原の大地は奥羽山脈の栗駒山を中心とし、扇状に広がり、それを源流とした一迫川・二迫川・三迫川が運んだ堆積物で豊かな土壌を形成し迫川となり北上川に合流いたします。

一迫川は花山から若柳に流れ迫川となります。花山地域は山の恵みの宝庫、岩魚の養殖や清水を用いた御番所豆腐の産地です。

上・中流部に位置する一迫地区からは山が開け水田地帯が広がり、下流域に用水を供給する『伊豆野堰』の取水口があり「伊達藩献上米」の里として古くから良質な米を育んできた地であり畑作も盛んな土地柄でございます。

中・下流部にあたる築館・若柳地区は一迫川を含む河川の堆積物により肥沃な土壌が広がり、稲作・畑作が盛んで近年、伊豆沼周辺の耕地を生かした蓮根栽培が活気を呼んでいます。このような肥沃で豊穡な地・迫川流域の産物で栗駒山麓のめぐみ『迫野御膳』を献立いたしました。



くりはらはらの大地の恵み

栗駒山麓ジオパーク

栗原市一迫

会席料理 丸勝